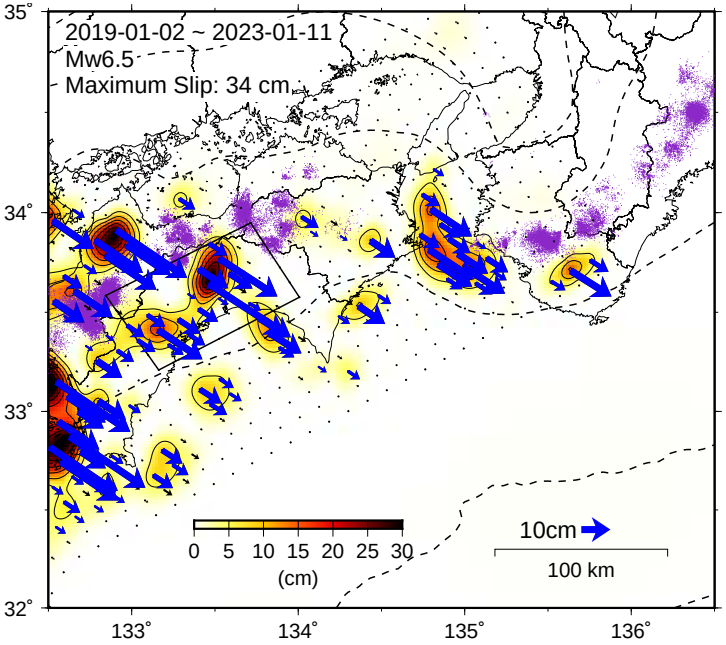
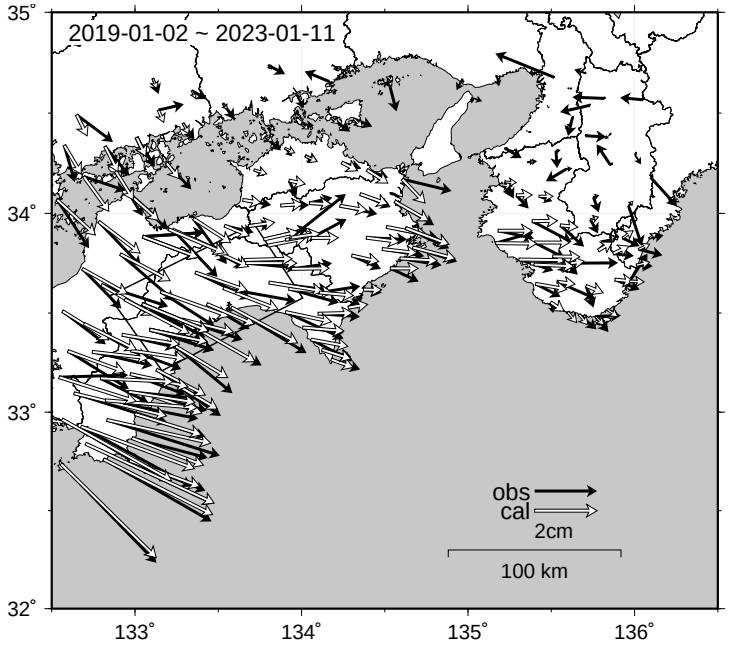
GNSS データから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり（暫定）

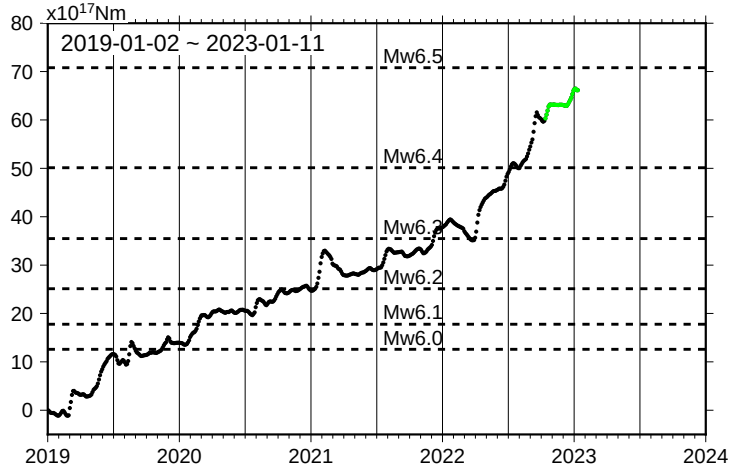
推定すべり分布



観測値（黒）と計算値（白）の比較



モーメント※時系列（試算）



※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合の Mw（モーメントマグニチュード）に換算できる。

Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（σ）の３倍以上のグリッドを青色表示している。

紫丸：低周波地震（気象庁一元化震源）（期間： 2019-01-02～2023-01-11 ）
黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線（Hirose et al., 2008）

使用したデータ：GEONET による日々の座標値（F5、R5 解）
　※電子基準点の保守等による変動は補正済み
トレンド期間：2017-01-01～2018-01-01
　（年周・半年周成分は 2017-01-01 ～ 最新のデータで補正）
モーメント計算範囲：左図の黒枠内側
観測値：３日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値
すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束
固定局：網野
　※共通誤差成分を推定

国土地理院